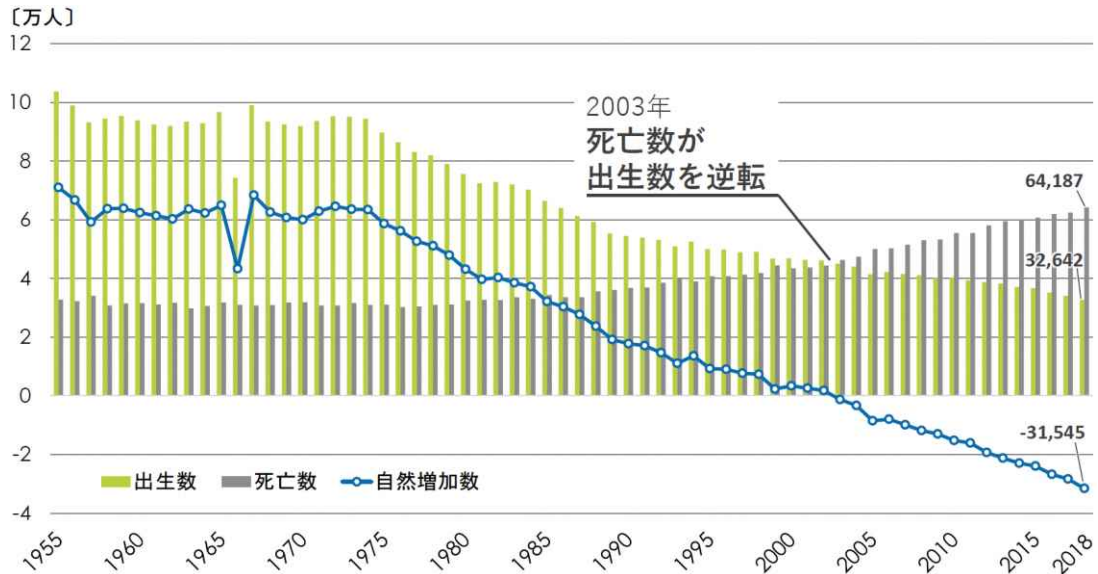


## 2 自然増減

### (1) 出生数・死亡数

自然増減については、2002（平成 14）年までは死亡数が出生数を下回っていたため「自然増」の状態が続いていたが、2003（平成 15）年以降は、死亡数が出生数を上回り、「自然減」に転じている。

出生数・死亡数・自然増加数の推移（北海道）



厚生労働省「人口動態統計」（日本人のみ）

### (2) 合計特殊出生率

本道の合計特殊出生率<sup>※1</sup>は全国平均より低く推移しており、2018（平成 30）年では、東京都に次いで全国で 2 番目に低い状況となっている。

出生数・合計特殊出生率の推移（全国・北海道）



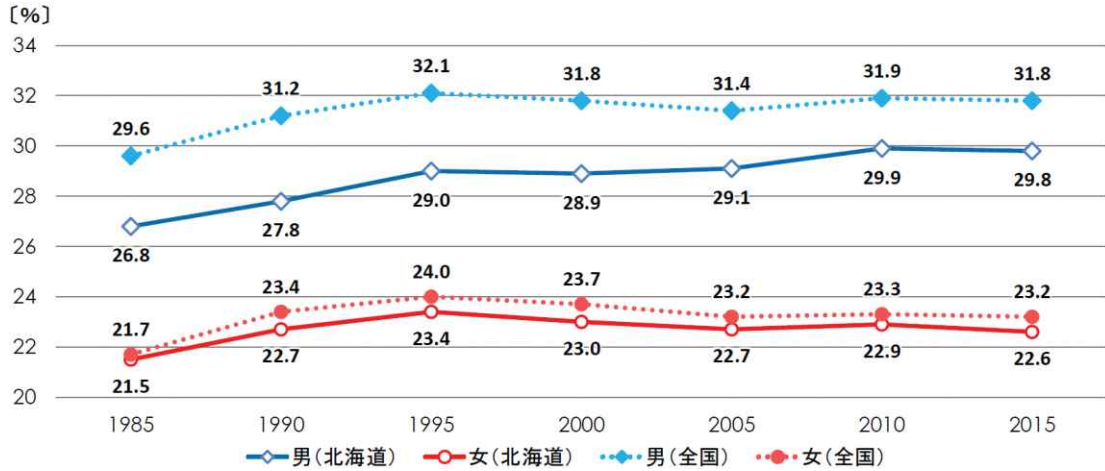
厚生労働省「人口動態統計」（日本人のみ）

※1 合計特殊出生率：その年次の 15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当する。

### (3) 未婚率・平均初婚年齢

本道の未婚率（15歳以上に占める未婚者の割合）は、全国平均と比べるとやや低く、2015（平成27）年では男性で29.8%、女性で22.6%となっており、2010（平成22）年からほぼ横ばいとなっている。

未婚率の推移（全国・北海道）

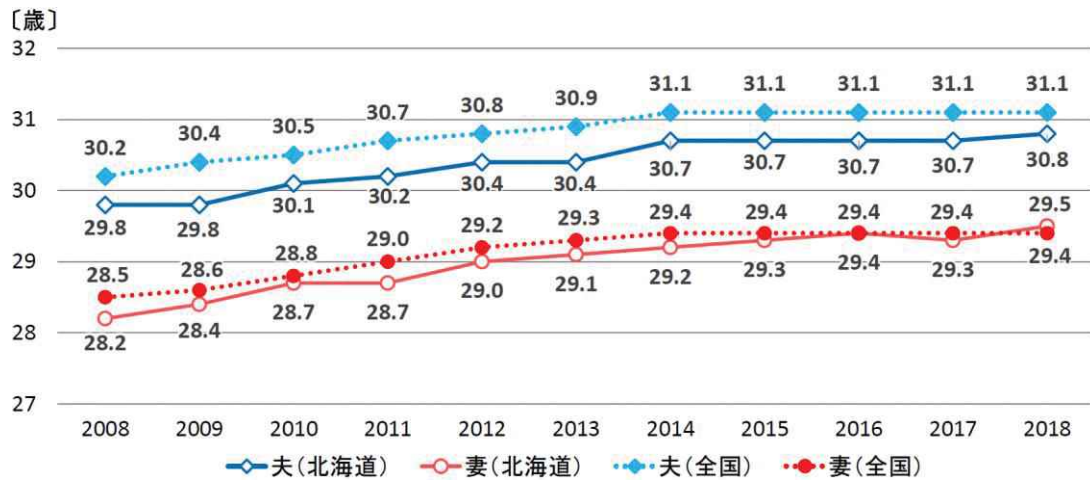


総務省「国勢調査」

2018（平成30）年の全国の平均初婚年齢を見ると、2008（平成20）年に比べ、男女ともに0.9歳上昇している。北海道も同様の傾向にあり、男性で1.0歳、女性で1.3歳上昇している。

平均初婚年齢の上昇に従って出産年齢も上昇し、結果として現在の出生数の減少につながっていると推測される。

平均初婚年齢の推移（全国・北海道）



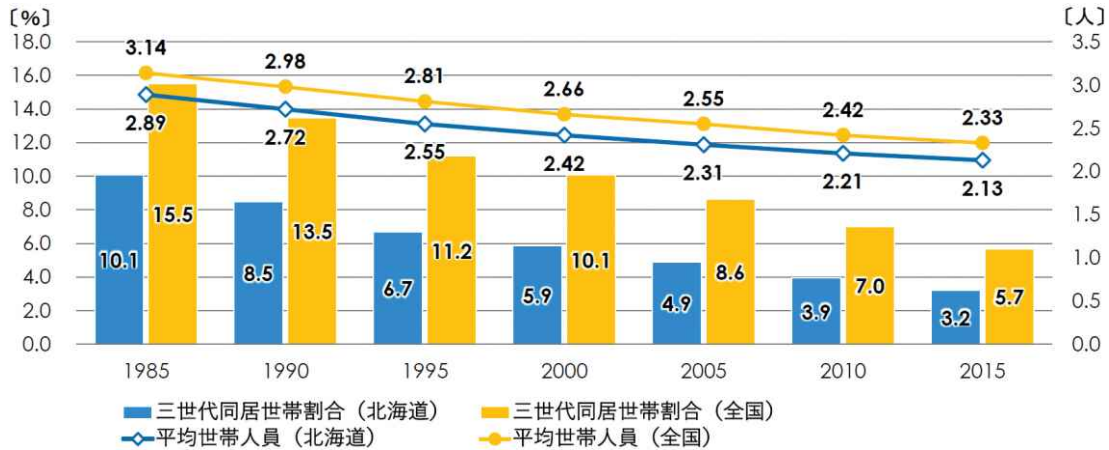
厚生労働省「人口動態統計」（日本人のみ）

#### (4) 核家族化

全国的に三世代が同居している世帯の割合及び平均世帯人数ともに減少傾向にある。

北海道においては、三世代同居世帯割合が2015（平成27）年で3.2%と、全国の5.7%に比べ2.5ポイント、平均世帯人員も全国の2.33人に対し、2.13人と、0.20人下回っており、全国よりも核家族化が進行している状況にある。

核家族化の状況（全国・北海道）

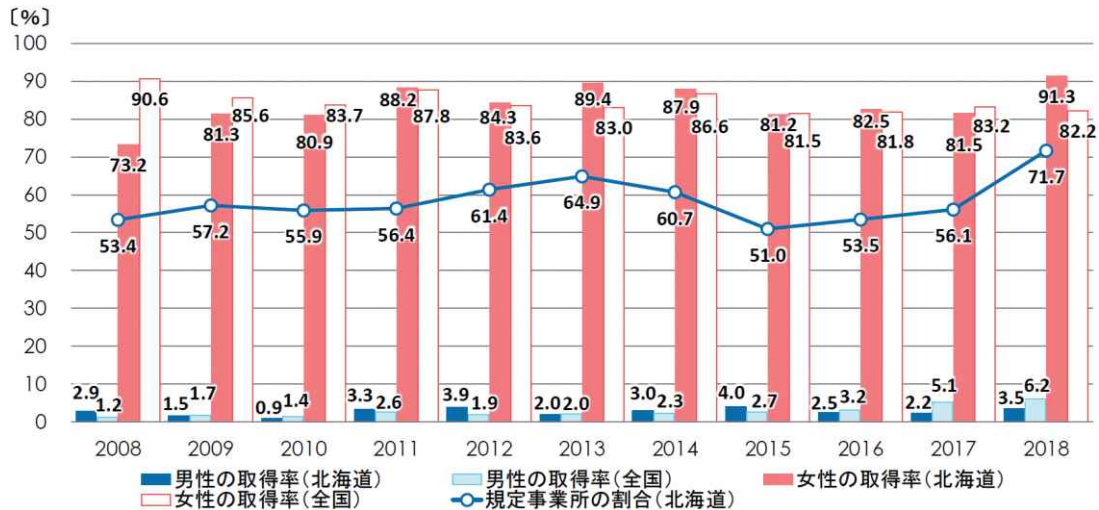


総務省「国勢調査」

#### (5) 育児休業取得率

育児休業制度を規定している事業所の割合は、2018（平成30）年は前年から15.6ポイント増加し、育児休業の取得率については、本道の女性の育児休業の取得率は91.3%と全国を上回る状況にあるが、男性は北海道・全国ともに1割以下と低い状況に留まっており、本道においては3.5%となっている。

育児休業制度の規定及び取得状況（全国・北海道）

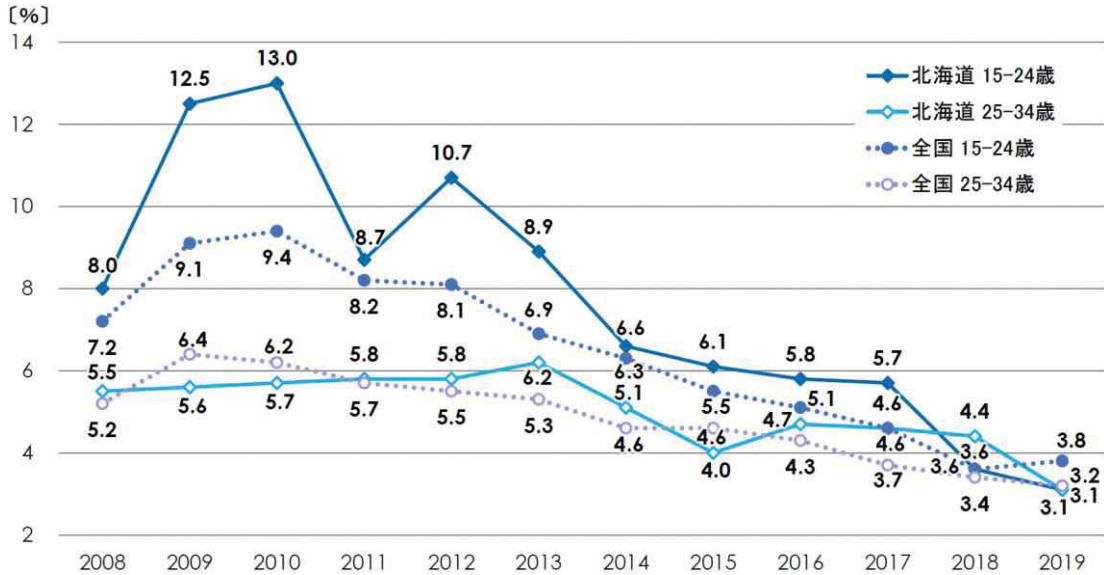


北海道経済部「就業環境実態調査」  
厚生労働省「雇用均等基本調査」

## (6) 若年者失業率

本道における若年者失業率は、これまでの傾向として全国よりも高い水準で推移している中、近年は改善傾向にあり、2019年は15～24、25～34歳ともに3.1%と全国より低い水準となっている。

若年者失業率の推移（全国・北海道）



総務省「労働力調査」 2011：岩手県、宮城県、福島県除く  
2011の値は2010公表の（新）基準人口による遡及値公表による

## (7) 出生率の高い市町村の特徴

道内において合計特殊出生率の高い市町村について、様々な側面から分析を行ったところ、「第1次産業の就業者割合が高い」「20歳代の有配偶率が高い」「3世代同居割合が高い」といった特徴があることがうかがえる。

合計特殊出生率の高い市町村(2008～2012年, 道内上位10町村)

市町村名	合計特殊出生率 (2008～2012年)	人口 (人)	産業別就業者割合(%)			有配偶率(%)		3世代同居割合 (%)
			第1次産業	第2次産業	第3次産業	20～24歳	25～29歳	
北海道	1.25	5,506,419	7.7	18.1	74.2	8.4	32.6	3.9
1 えりも町	1.90	5,413	48.6	12.3	39.0	16.7	41.7	11.5
2 別海町	1.86	15,855	40.9	13.1	46.0	15.6	44.8	12.3
3 共和町	1.81	6,428	28.5	17.9	53.6	13.2	45.9	8.5
4 日高町	1.80	13,615	31.5	13.6	54.9	16.3	37.5	5.0
5 猿払村	1.75	2,825	33.4	27.6	39.0	11.2	50.0	6.1
6 佐呂間町	1.74	5,892	32.0	23.9	44.1	16.1	50.4	8.7
7 標茶町	1.73	8,285	33.5	12.5	54.0	22.3	42.0	8.3
8 羅臼町	1.72	5,885	44.0	17.4	38.6	19.3	41.9	14.2
9 大空町	1.71	7,933	40.7	11.3	48.0	16.7	44.6	12.3
10 浦幌町	1.69	5,460	36.7	15.6	47.7	20.4	44.6	8.4

合計特殊出生率：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」2008～2012年（日本人のみ）  
人口・産業別就業者割合・有配偶率・3世代同居割合：総務省「国勢調査」2010年